

順天寮事業の概要

平成29年3月31日現在

1 福祉事務所別利用者(入所者)数 (人)

福祉事務所	人数	福祉事務所	人数	福祉事務所	人数
駒ヶ根市	13	松本市	10	木曾郡	2
飯田市	6	上伊那郡	16	安曇野市	2
伊那市	6	下伊那郡	6	その他(私的契約含む)	1
諏訪市	2	諏訪郡	2	合計	66

2 上伊那郡町村別利用者(入所者)数 (人)

町村別	性別		計
	男	女	
飯島町	1	3	4
中川村	1	0	1
宮田村	0	1	1
辰野町	3	1	4
箕輪町	2	0	2
南箕輪村	3	1	4
計	10	6	16

3 年齢別利用者(入所者)の状況

年代別	性別		計(人)	割合
	男	女		
30歳代	2	0	2	3.1%
40歳代	1	3	4	6.2%
50歳代	6	3	9	13.8%
60歳代	14	7	21	32.3%
70歳代	11	12	23	35.4%
80歳代	1	6	7	10.8%
計	35	31	66	100%

	男(歳)	女(歳)	全体(歳)
最高年齢	83	85	85
最低年齢	36	42	36
平均年齢	63.8	67.9	65.9

4 65歳以上の利用者(入所者)

性別	人数	割合(%)
	人数(人)	
男	19	54.3
女	20	64.5
計	39	59.1

5 入所期間の状況 (人)

区分	1年未満	1年以上 5年未満	5年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上 20年未満	20年以上	合計
人数	6	16	9	8	8	19	66

6 障害別利用者(入所者)の状況 (人)

区 分	人 数	区 分	人 数
身体障害	2	知的・精神障害	9
知的障害	13	身体・知的・精神障害	1
精神障害	35	上記以外の疾病・病弱	2
身体・知的障害	1	障害なし	1
身体・精神障害	2	合 計	66

7 日常生活における基本動作介護の程度(入所者) (人)

程度 \ 基本動作	食 事	入 浴	排 泄	衣服着脱	移 動
自分でできる	58	38	52	57	50
一部介助必要	7	20	11	8	12
全部介助必要	1	8	3	1	4
合 計	66	66	66	66	66

8 居宅生活訓練事業の利用状況(人)

利用人員	3
------	---

9 保護施設通所事業の利用状況

区分	延べ利用人数 (人)	延べ利用回数 (回)
通所訓練	30	447
訪問事業	30	60

10 就労支援の状況 (人)

企業・事業所名	就労内容	利用者数
ケイティケイ株式会社	施設内作業(内職)	18
日精技研株式会社	施設内作業(内職)	26

平均工賃 2,728 円/月

11 年度中における入・退所の状況 (人)

区分	退所後の状況	入所前の状況
死 亡	0	0
病 院	2	4
在 宅	2	1
介護保険施設	1	1
合 計	5	6

13 利用者の健康管理

利用者は、毎月内科2回、精神科1回の定期診療を必要に応じて受診している。また、オートアナライザー、レントゲン間接撮影、乳房検診、胃検診、大腸・子宮がん検診等を実施し、健康管理に努めている。

入浴は、週3回(月・水・金曜日の午後)実施している。

受診の状況(定期検診の件数は除く)

	延人数(人)	構成比 %	入院の状況
内 科	271	33.9	実人数 14人
外 科	32	4.0	延人数 17人
眼 科	63	7.9	延日数 500日
泌尿器科	12	0.6	
皮膚科	6	0.8	こころの医療センター駒ヶ根
整形外科	16	2.0	実人数 3人
脳外科	2	0.8	延人数 5人
耳鼻科	29	14.0	延日数 319日
精神科	232	29.0	
歯 科	95	51.0	昭和伊南総合病院
婦人科	20	2.5	実人数 8人
放射線科	22	2.8	延人数 9人
合 計	800	100.0	延日数 133日

14 利用者の食事

利用者の健康状態や嗜好を把握し、季節感あふれる食材や暦に添った行事食を取り入れた献立の実施、また利用者が丹精込めて栽培した野菜の有効活用や、和洋折衷を取り入れた選択食やバイキングなどを行い、家庭的な楽しい食生活になるよう心掛けている。

平成28年度栄養量

	実栄養量	目標栄養量
熱 量	1,836 kcal	1,800 kcal
タンパク質	67.3 g	65.0 g

15 機能回復訓練

毎週、月曜日から土曜日の朝と昼(土曜日は朝のみ)に、ラジオ体操及びウォーキングを実施している。

また、全体で行う清掃や内職・作品づくりのほか、作業グループ(園芸、環境整備、農作業、洗濯たたみ)及びクラブ活動(音楽、書道、美術、お楽しみ、カラオケ)も機能回復訓練と捉え、心身の現状保持、機能退化防止に努め、生き甲斐のある生活を目指している。

16 主要行事、事業

◎利用者旅行

7班に分かれて、日帰り一泊旅行実施

一泊旅行 リニア見学、大井川鉄道SLへの旅
平成28年11月10日(木)～11日(金)
利用者 18名 参加

日帰り旅行 上諏訪温泉からビーナスラインへの旅
平成28年7月7日(木)
利用者 14名 参加

日帰り旅行 市内 散策
平成28年6月16・28日
利用者 24名 参加

◎四者懇談、保護者会総会 [平成28年6月30日(木)、7月5・12日(火)]

利用者、福祉事務所、保護者、職員の四者で懇談会を実施した。
また、6月30日に保護者会総会を開催した。

◎順天寮納涼祭(平成28年8月5日)

日頃お世話になっている地域の皆さん、ボランティアの皆さん等をお招きし、
会食、盆踊り、花火大会等を実施した。利用者は浴衣姿等で参加し楽しんだ。

◎県下救護施設交流会(平成28年10月6日)

順天寮が当番施設となり、県下7施設の利用者及び職員が参加(全県より利用者172名)
し、ゲーム形式の交流を行った。利用者64名、職員24名が参加した。

◎ほほえみ祭(平成28年10月29日)

近隣の福祉施設三施設(順天寮、千寿園、保育園)共催で「ほほえみ祭」を実施。
各施設一年間の成果発表や野菜・作品の販売、各種模擬店、順天寮体育館では
ダンボール迷路を実施するなど、ボランティア・保護者・小学生・園児ほか地域の
大勢の皆さんと交流を深めた。

◎その他、流しソーメン・五平餅会・焼肉会・餅つき大会、バイキング等、季節に応じた 行事に全員参加し、家庭的な雰囲気の中で実施できた。

◎地域交流事業

- ・各グループでの食事会・お茶会・買い物等による社会交流を実施した。
- ・市内で行われた各種お祭り・行事等に参加し、多くの市民・ボランティアの皆さんと
交流を深めた。
- ・福岡保育園の園児と、さつまいもの植付け・収穫・焼き芋会を実施した。
- ・南割、福岡区の民生児童委員との懇談を行ない、定期的に交流を進めることとした。

17 苦情処理の状況

苦情申出件数 4件
処理済件数 4件
第三者委員による相談会 2回実施

18 職員の状況

職員数 32名 男性:13名 女性:19名
寮長 : 1名 介護職員 : 15名
事務員 : 2名 栄養士 : 1名
指導員 : 4名 調理員 : 6名(うち代替職員2名)
看護師 : 2名 業務員 : 1名

職員の研修

救護施設協議会や県・県社会福祉協議会による研修など、各種研修会に参加、施設内で精神障害者への対応技術研修

職員厚生事業

定期健康診断 : 年2回